

ANA/JAL 2014 年度決算の簡易比較

この度発表された ANA と JAL の連結決算を簡単に比較した。

(注) 末尾処理により別表数値(四捨五入)と発表値(切り捨て)とが一致しない箇所がある。

1. 決算概観

- ・ **収益性**; ANA、JAL とともに増収増益(経常損益)となったが、ANA の増益幅が大きく、両社の収支差(収益力の差)は縮小した。
- ・ **収入規模**; ANA は国際線を中心に収入規模を拡大し、JAL との格差は更に拡大した。JAL の収入を 100 とした ANA の指数; (前)120 ⇒(当)127
- ・ **財務状況**; 両社ともに、航空機等に大幅な設備投資(資金支出増)を行った。
手元資金の規模は、ANA が約 500 億円減少したが、JAL は豊富な営業キャッシュフローに支えられて、微減にとどまった。
- ・ **次期の見通し**; ANA は「増収増益」を増配を見込んでいるが、JAL は「減収減益」を見込んでいる。

2. 収支(損益計算書)の比較; 表 1 参照

- ① 売上高(営業収益); ANA は前期より 1,433 億円増(+9%)の 17,135 億円。
JAL は前期より 354 億円増(+3%)の 13,093 億円。
 - ・ 国内旅客収入は ANA 小幅に対して JAL は前年並み。
 - ・ ANA は国際旅客を中心に大幅増収となった。
 - ・ 営業費用; 両社とも規模増により増加したが、収入の増加より下回った。
- ② 営業利益; ANA は前期に比べて+256 億円の 915 億円(利益率 5%)。
JAL も+129 億円の 1,797 億円(利益率 13%)。
両社の利益差は縮まったが、なお 882 億円の差がある。
- ③ 当期純利益; ANA は前期より+204 億円の 392 億円。
これには退職給付制度改定による利益(99 億円)も貢献している。
JAL は前期より▲172 億円の 1,490 億円。
これには法人税等調整額(繰延税金関連)の減少(約 200 億円)が関係している。

④ 次期予想；

ANA は、当期より約 800 億円上回る 1 兆 7,900 億円の売上げで、営業利益 1,150 億円を見込み、5 円の配当を予定している。

JAL は、当期より減収の 1 兆 3,280 億円の売上げで、営業利益 1,720 億円(▲77 億円)を見込み、配当は未定としている。

3. 収益性(旅客)の比較；表 2 参照

① 国内旅客；両社とも供給座席減(小型化によると考えられる)の中で旅客数を伸ばし、搭乗率は夫々2ポイント上昇した。

両社の規模を比較すると、JAL の収入(4876 億円)は ANA の 71%であり、格差は更に拡大した。なお搭乗率は、ANA の 64%に対して JAL は 66%と高い。

② 国際旅客；ANA は大幅な規模拡大(+19%)により、供給規模(座席^キ)と収入規模は逆転して JAL を上回った。

旅客数では依然 JAL が ANA を上回っているが、これは JAL は近距離線の割合が高いことを物語っている(平均旅客距離は JAL4,600km に対して ANA は 4,900km)。

なお搭乗率では JAL が 3.7 ポイント上回る 75.7%であった。

③ 際内合計の収益性指標；

旅客以外の収入は、それに要する費用と同じとみなして推定計算(旅客以外の事業は収支トントンとする簡易手法)すると、

旅客^キ単価は両社ほぼ同じレベルにあるが、座席^キコストは JAL が大幅に低く(9.1 円)、このため B/E(ブレイクイーブン搭乗率)は JAL が約 58%と、ANA の 62%より低い。加えて搭乗率が JAL が ANA より約 4 ポイント高いことで、JAL の利益率は ANA を大幅に上回っている。

4. 財務状況(貸借対照表)の比較; 表3参照

① ANA/JAL の差;

資産; ANA の総資産は JAL より 8,291 億円多い 2 兆 3,024 億円。

航空機と建設仮勘定(機材の前払金等)が約 5,000 億円多いこと、
および建物・土地等の有形固定資産や無形固定資産が多いことによる。

負債; ANA の有利子負債は 7,928 億円で、JAL の 517 億円より 7,411 億円多い。
他方リース債務は JAL のほうが 207 億円多い。

両社ともに退職給付引当金が多い(特に JAL)。

純資産; ANA は資本金+資本準備金が JAL より 2,366 億円多いが、利益剰余金等
が▲2,318 億円少ない。

② ANA の財務状況の変化;

資産; 航空機や、その他の投資で増加したが、手元資金は約 500 億円減少した。

負債; 退職給付債務や有利子負債は減少したが、その他の負債がそれを上回って
増加した。

純資産; 利益剰余金や有価証券の評価差額が増加した。

② JAL の財務状況の変化;

資産; 航空機関連やその他の投資で増加した。手元資金は、好調な営業キャッシュ
フローによって補われて微減にとどまった。

負債; リース債務が減少したが、退職給付債務やその他の負債が増加した。

純資産; 利益剰余金が増加した。

(表 1) 収支(損益計算書)の比較表

		ANA				JAL				【次期予想】	
		前期	当期	差	率	前期	当期	差	率	ANA	JAL
国内旅客	億円	6,752	6,834	82	101	4,874	4,876	1	100		
国際旅客	億円	3,953	4,683	730	118	4,376	4,549	173	104		
貨物郵便	億円	1,456	1,670	214	115	919	984	64	107		
他の航空運送	億円	1,483	1,659	176	112	1,498	1,555	57	104		
(航空運送 計)		13,643	14,846	1,203	105	11,667	11,962	250	103		
他の収入	億円	2,058	2,289	231	111	1,427	1,485	58	104		
営業収益	億円	15,701	17,135	1,433	109	13,093	13,447	354	103	17,900	13,280
営業費用	億円	15,042	16,219	1,178	108	11,426	11,650	225	102		
営業利益	億円	660	915	256		1,668	1,797	129		1,150	1,720
(率)	億円	4	5			13	13				
営業外収支	億円	-231	-244	-14		-92	-44	47			
経常利益	億円	429	671	242		1,576	1,753	176		900	1,690
特別損益	億円	-65	109	174		24	-54	-78			
税前利益	億円	364	780	416		1,600	1,699	99			
税金等	億円	-175	-387	-212		62	-209	-271			
当期純利益	億円	189	392	204		1,663	1,490	-172		520	1,440
配当金	億円	105	140			290	377				
(1株当り)	円	3	4			160	104			5	?

(表2)収益性(旅客)の比較表

		ANA				JAL			
		前期	当期	差	率	前期	当期	差	率
【国内旅客】									
旅客収入	億円	6,752	6,834	82	101	4,874	4,876	1	100
旅客数	千人	42,669	43,203	535	101	31,219	31,644	425	101
旅客 ^千 *	百万 ^千	37,862	38,582	720	102	23,745	23,994	249	101
座席 ^千 *	百万 ^千	61,047	60,213	-834	99	37,084	36,306	-778	98
搭乗率	%	62.0	64.1	2.1		64.0	66.1	2.1	
旅客単価	円/人	15,823	15,818	-6	100	15,613	15,407	-205	99
旅客 ^千 単価*	円/ ^千	17.8	17.7	-0.1	99	20.5	20.3	-0.2	99
【国際旅客】									
旅客収入	億円	3,953	4,683	730	118	4,376	4,549	173	104
旅客数	千人	6,336	7,208	872	114	7,723	7,794	70	101
旅客 ^千	百万 ^千	30,614	35,639	5,026	116	35,390	36,110	719	102
座席 ^千	百万 ^千	41,452	49,487	8,036	119	46,235	47,697	1,462	103
搭乗率	%	73.9	72.0	-1.8		76.5	75.7	-0.8	
旅客単価	円/人	62,393	64,972	2,579	104	56,657	58,362	1,705	103
旅客 ^千 単価	円/ ^千	12.9	13.1	0.2	102	12.4	12.6	0.2	102
(平均距離)	KM	4,831	4,944	113	102	4,582	4,633	51	101
【際内合計】									
旅客収入	億円	10,705	11,517	812	108	9,250	9,424	174	102
旅客 ^千	百万 ^千	68,475	74,221	5,746	108	59,136	60,103	968	102
座席 ^千	百万 ^千	102,498	109,701	7,202	107	83,319	84,003	684	101
搭乗率	%	66.8	67.7	0.9		71.0	71.5	0.6	
旅客単価	円/ ^千	15.6	15.5	-0.1	99	15.6	15.7	0.0	100
座席コスト(※)	円/ ^千	9.8	9.7	-0.1	99	9.1	9.1	-0.0	100
B/E(※)	%	62.7	62.3	-0.4		58.2	57.9	-0.3	
(平均距離)	KM	1,397	1,472	75	105	1,519	1,524	5	100
* 距離計算が異なる(ANA; 運航距離、JAL; 大圏距離)									
※ 旅客以外の収入は、営業費用から控除して算出した「みなし数値」									

(表3)財務状況(貸借対照表)の比較表

	ANA			JAL			ANA-JAL
	前期	当期	差	前期	当期	差	当期
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円
現預金、有価証券	3,731	3,226	-505	3,688	3,650	-38	-424
営業未収入金	1,421	1,443	22	1,438	1,422	-17	22
航空機	8,638	8,737	99	4,470	4,913	443	3,824
建設仮勘定	1,566	2,061	496	620	978	358	1,084
他有形固定資産・無形固定資産	2,754	3,006	253	1,020	1,134	114	1,873
繰延税金資産	840	681	-160	151	163	12	517
その他資産	2,785	3,870	1,085	2,014	2,475	460	1,395
資産合計	21,736	23,024	1,288	13,402	14,734	1,332	8,291
営業未払金	1,798	1,822	24	1,490	1,448	-42	374
有利子負債	8,032	7,928	-103	534	517	-17	7,411
リース債務	316	270	-46	795	477	-318	-207
退職給付債務	1,811	1,606	-205	1,666	1,916	250	-311
その他負債	2,520	3,363	843	1,806	2,367	562	996
負債合計	14,477	14,989	512	6,291	6,726	435	8,263
資本金・資本剰余金	6,007	6,010	3	3,644	3,644	-0	2,366
利益剰余金	1,558	1,894	335	3,321	4,211	891	-2,318
その他	-53	132	185	146	152	6	-20
純資産合計	7,513	8,036	523	7,111	8,008	897	28

以上